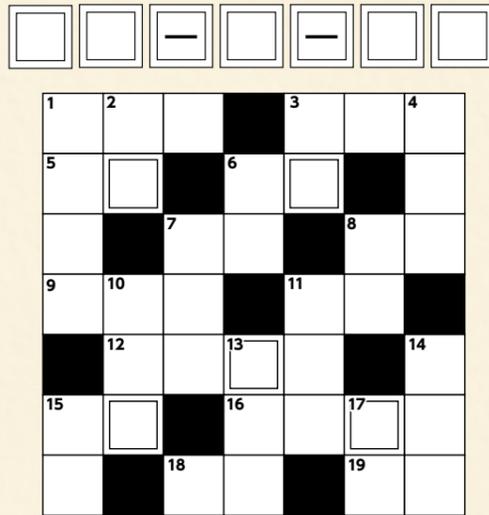


Merのキーワード! Crossword Puzzle

正解者から抽選で5人にクオカード(2000円分)を差し上げます。

二重マスを並べ替えてできる言葉

□のマス目に「答え」が隠れています。パズルに言葉をあてはめ、□□□□□□の文字を並べ替えてください(今号は「ガイアの瞳」にヒントがあります)。タテ・ヨコのカギには特集記事にまつわる言葉もあります。ぜひ、チャレンジしてみてください!



タテのカギ

- 1 とっておきの手段。奥の手。愛を英語で?
- 2 日中。朝・○○・夜。
- 3 ○○○ケーキ。○○○キャベツ。
- 4 ○○○パン。
- 5 個人に手紙を送るときに宛名につける敬称。
- 6 「煙雨」の読み方は? 江戸時代、大名が治めた領地の呼び名。
- 7 一度に全部捕らえること、一網○○○。
- 8 上司。社長。ビッグ○○。
- 9 折り返しできる、あおいで風を起こす道具。
- 10 「細雪」の作者、谷崎○○○一郎(3ページ)。
- 11 「うで」の別名。○○○ひねり(相撲の決まり手)。
- 12 田畑の見張り役。
- 13 折り畳みできる、あおいで風を起こす道具。
- 14 「木瓜」の読み方は?
- 15 「うで」の別名。○○○ひねり(相撲の決まり手)。
- 16 田畑の見張り役。
- 17 折り畳みできる、あおいで風を起こす道具。
- 18 「木瓜」の読み方は?
- 19 一度に全部捕らえること、一網○○○。

ヨコのカギ

- 1 鉱物「うんも」の別名。
- 2 奈良県で氷の神様をまつる○○○神社(8ページ)。
- 3 ろっ骨を英語で。○○ロース。
- 4 ○○も木から落ちる。
- 5 願い事を書いて社寺に奉納する額。
- 6 ○○はあけぼの(枕草子)。
- 7 一度に全部捕らえること、一網○○○。
- 8 上司。社長。ビッグ○○。
- 9 折り返しできる、あおいで風を起こす道具。
- 10 「細雪」の作者、谷崎○○○一郎(3ページ)。
- 11 「うで」の別名。○○○ひねり(相撲の決まり手)。
- 12 田畑の見張り役。
- 13 折り畳みできる、あおいで風を起こす道具。
- 14 「木瓜」の読み方は?
- 15 「うで」の別名。○○○ひねり(相撲の決まり手)。
- 16 田畑の見張り役。
- 17 折り畳みできる、あおいで風を起こす道具。
- 18 「木瓜」の読み方は?
- 19 一度に全部捕らえること、一網○○○。

パズルの応募方法

EメールまたはFAXで、①パズルの解答「□□□□□□□□」②住所・名前・電話番号③本誌を受け取った場所④今号で印象に残った記事⑤Merへのご感想を記入し、右記宛先へ。送信は1人1回のみ(複数応募は無効)とさせていただきます。

宛先

メール: koueki@uitech.jp
FAX: 06-4963-2087
締め切り/6月30日(金)。

※前号の答え= **セキランウン** でした。多数のご応募、ありがとうございました。

Merとは

「Mer(メール)」とはフランス語で「海」を意味する言葉。命を育んだ海と、メッセージを伝える「メール(Mail)」の音を重ねています。本誌は、大阪府内を中心とした下水道情報を織り交ぜながら、水そのものや水環境、都市環境、水にかかる生産活動などに関する幅広い分野の情報を掲載しています。この冊子を通じて、これから水という大切で身近な存在を通して、私たちの暮らしと未来について考えていきます。

バックナンバーはホームページに掲載しています。

人と地球のうらおい
マガジン・メール
2023年3月号

発行 一般財団法人 都市技術センター
〒541-0055 大阪市中央区船場中央2丁目2番5-206号 船場センタービル5号館2階
TEL 06-4963-2056 <http://www.uitech.jp/>

人と地球のうらおいマガジン

FREE
magazine

Mer

[メール]

vol.34
2023
March

清流紀行 P02

「住吉川」(兵庫県神戸市)

ガイアの瞳 P04

「脱炭素社会を目指して
~海の貯蔵庫「ブルーカーボン」~」

すいじんのまじかり
水人之交 P08

「古都から発信! かき氷文化」(奈良県)

大阪府内の下水道情報 P12

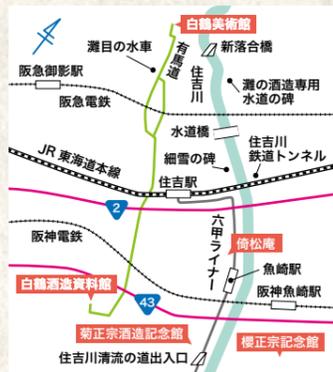
センターだより P14

クロスワードパズル P16

清流紀行

住吉川
(兵庫県神戸市)

灘五郷の酒造りを支えた川



交通アクセス
電車 阪急御影駅から白鶴美術館まで、徒歩約15分、白鶴美術館から住吉川沿いに、阪神魚崎駅まで約40～50分



見どころが点在する

市民のオアシス

階段状に流れる水と、整備された遊歩道

開放感たっぷり「清流の道」

神戸市東部、灘五郷における酒造の一端を担う二級河川「住吉川」。六甲山最高峰付近を源とし、いくつもの溪流を集めて大阪湾へと注ぎます。その中流から下流にかけての河川敷は「清流の道」として整備されています。これは、かつて渦森山を削って魚崎浜、深江浜を埋め立てた時に、土砂を運ぶダンプカーの専用道路として整備されたもの。工事終了後は、地元からの要望によって1975年に一般開放。片道2.5kmのゆったりとした遊歩道は散歩やジョギング、水遊びなど、多くの市民に親しまれています。

生活排水の流入がない、市内随一の清流にはアユやサワガニ、アオサギなど多種の生物が生息。初夏には上流でゲンジボタルが鑑賞でき、澄んだ川面に浮かぶ水鳥たちの姿にも癒やされます。また、遊歩道沿いには等間隔で黄色いランプと案内板を設置。「パトライト」と呼ば

れる回転灯は、大雨や洪水注意報が発令された際に点灯します。鉄砲水による神戸・都賀川の水難事故(2008年)を教訓に、官民が力を合わせて「回転灯が回ったら、川遊びをやめて上がろう!」と、急激な増水から身を守るための呼びかけを続けています。



増水の危険性が高い時に発動するパトライト

随所に光る、阪神間モダニズム

清流の道周辺は、灘の酒造にまつわる石碑や水車、美術館や文豪の旧宅などが点在することでも知られます。北から南へのんびりと、約1時間のウォーキングで見どころを巡ってみましょう。



白鶴酒造7代当主・嘉納治兵衛が設立した白鶴美術館



大小2基の灘目の水車は「山田太郎車・次郎車」という愛称で親しまれています



住吉川上流に酒造用の水源を求め、灘五郷酒造組合が専用水道を設置したことを物語る「灘の酒造専用水道の碑」(※敷地内の立ち入りはできません)



灘の酒造用具の展示や買い物を楽しめる、菊正宗酒造記念館



文豪・谷崎潤一郎の旧宅「倚松庵」



細雪の碑

スタートは阪急神戸線・御影駅から。北へ徒歩約15分の白鶴美術館を目指します。私立美術館の先駆けとして1934年に開館し、昭和の格式高い建築や風光明媚な庭園が訪れる人を魅了します。



住吉川名物のカルガモの親子が、美術館の庭園を訪れたことも

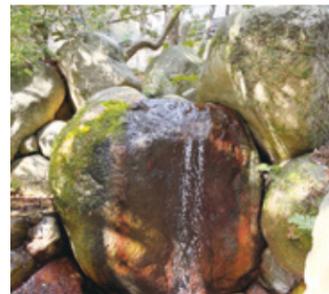
そこから川沿いを南下し、新落合橋のロープをおりて清流の道へ。時間があれば有馬街道を南下し、江戸時代の酒造りのシンボル「灘目の水車」に立ち寄るのもお勧めです。

新落合橋の少し先、住宅街の中には「灘の酒造専用水道の碑」。その昔、神戸地区の酒造家が六甲山地の水を安定して確保するため、住吉川上流に酒造用の水源を求めたことが分かります。重厚なフォルムの水道橋の先では文豪・谷崎潤一郎の代表作「細雪」の碑が迎

立ち寄り“水”SPOT

六甲山脈からの「つながり」を実感!

白鶴美術館の庭園



山麓からの水は小さな滝となり、小川へとつながる

えてくれます。住吉川鉄道トンネルを越え、さらに南へと進みましょう。「細雪」の舞台でもある「倚松庵」は、谷崎潤一郎の旧宅を復元したもの。「細雪の家」と親しまれ、レトロな応接室や書斎、庭を見学できます(※土日のみ開館/公式サイトを参照)。ゴールの阪神魚崎駅はもうすぐ! 川のせせらぎに耳を澄ませたり野鳥を観察したりと、思い思いの時間を過ごす人たちの姿は上流付近と変わりません。

灘五郷の酒造りを育んだ歴史をもつ、住吉川。阪神魚崎駅からさらに南下すると、白鶴、菊正宗、櫻正宗の三つの酒造が営む資料館や記念館があります。灘の酒造りの歴史や道具を見学できるほか、3館共に試飲(有料/無料あり)のお楽しみも。美酒をいただきながら、見どころいっぱい住吉川散策を振り返るのも一興です。

本館の裏手にある庭園は、六甲山系からの自然の恵みを感じられる場所です。山麓から流れてきた水は園内で楚々とした小川となり、池へ。そこから、直結する住吉川へと託されます。「自然の恩恵を実感していただけたらうれしいです」と、美術館職員さん。桜や新緑など、四季折々の景色も訪れる楽しみです。

※春季開館は6月4日(日)まで(月曜休)。春季展は「中国の銅鏡」(本館)・「近代ペルシアのメダリオン絨毯」(新館)/詳細は公式サイトを参照

ガイアの瞳

脱炭素社会を目指して ～海の貯蔵庫「ブルーカーボン」～

地球温暖化や豪雨、猛暑のリスクが高まる昨今、「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現に向けて、再生エネルギーの拡大や省エネ技術発展への取り組みがさまざまな分野で行われています。

近年の研究で、藻場(もば)、干潟といった生態系が大気中の二酸化炭素の回収、蓄積に効果があることが分かりました。「ブルーカーボン」と呼ばれる炭素の活用は、海に囲まれた日本にとって大きな可能性を秘めています。官民連携による藻場再生など新たな挑戦に注目し、切り札の一つであるブルーカーボンへの理解を深めましょう。

カジメやホンダワラが育つ大阪湾

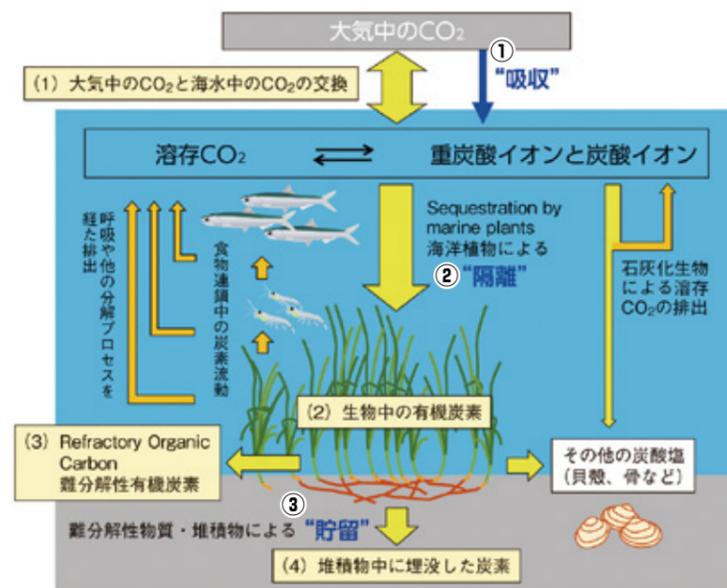
温室効果ガス削減に貢献！「ブルーカーボン生態系」

■ブルーカーボンって何？

大気中のCO₂の吸収は、植物の光合成が重要な役割を果たしています。さらに植物は枯れて土壌に長時間堆積することで、炭素を有機物として貯蔵し続けます。陸上の生物が吸収・貯蔵する炭素を「グリーンカーボン」、海洋生物が吸収・貯蔵する炭素を「ブルーカーボン※」と呼びます。アマモ場やコンブ場などの藻場、マングローブ林、干潟など太陽光が届きやすい浅瀬の堆積物の中にたくさん貯留されています。

- ①吸収=大気中のCO₂が海水に溶け込む
- ②隔離=海中に溶け込んだ炭素が、海藻の光合成により体内に有機炭素として取り込まれる
- ③貯留=隔離された有機炭素が長期間保存されるまでの過程(例:「流れ藻」として海面を漂って沈降した後、海底の土壌中に埋没)

※2009年に国連環境計画(UNEP)の報告書で命名された言葉。CO₂吸収源の新しい選択肢として提示されました。



ブルーカーボンによる二酸化炭素吸収・貯留の仕組み (出典:水産庁HP)

大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン

■豊かな魚庭の海を目指そう

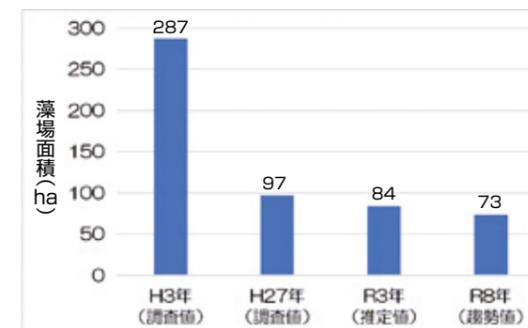
大阪湾は古くから「魚庭の海」と呼ばれ、魚介類が豊富でした。しかし漁場環境が大きく変化した昨今、漁獲量は減少し、大阪湾の再生活動が盛んに行われています。そこで海中のCO₂を吸収して酸素を供給する藻場は、水産資源の増殖に大きな役割を果たすだけでなく、ブルーカーボンを蓄積する場としても期待されています。

水産庁の「藻場・干潟ビジョン」(2016年1月)を踏まえ、2022年1月に大阪府が策定した行動計画「大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン」。大阪府沿岸を対象とし、各海域の環境に対応しながらハード・ソフトが一体となった広域的対策を実施し、実効性のある効率的な藻場の創造・保全を目指します。

1991年に287haあった藻場が2015年には97haに減少(環境省)。2021年時点では84ha(推定値)に、さらに対策を実施しなければ2026年には73ha(趨勢値※動向)まで減少すると推定されます。藻場の減少は、海藻が育つ岩場など着底基質の不足や機能低下、植食性魚類(アイゴなど)による食害などの複合的要因が考えられています。



大阪湾のCO₂を吸収するカジメ(左)、ガラモ(右/ホンダワラ属)



大阪府海域全体の藻場面積の推移

環境保全に関する子ども向け啓発シリーズ動画「ハッピー・オオサカ・ベイベース」

大阪湾の多様な魅力や、海洋プラスチックごみの削減など環境の保全に向けて“今日からできる取り組み”を分かりやすく学べる全5話の動画(YouTubeで公開中)。大阪湾の近くにある秘密基地「ハッピー・オオサカ・ベイベース」にゆかいな仲間たちが集まって、映像やクイズを交えながらワイワイと話が展開していきます。

第1話「大阪湾のMOBA(藻場)がいま、あつい!」では、岬町などの藻場の映像をもとに、藻場が果たしている役割や磯焼けの状況について考えます。普段見ることができない、大阪湾の水中の映像は圧巻!メインターゲットは小学3、4年生ですが、「大人が見てもおもしろい」と好評です。また、環境学習や地域のイベントなど、各市町村へのDVDの貸し出しも行っています。

【問い合わせ】

大阪府環境農林水産部 環境管理室環境保全課(環境計画グループ)
TEL: 06-6210-9577
メール: kankyokanri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp



ルーシー(アメリカ出身の留学生)、魚庭(なにわ)くん(放課後にやってくる小学生)、スナメリさん(基地に住みついている生き物)たちが大阪湾の魅力や環境問題について考えるものがたりです



第1話は
こちらから
(YouTube)



大阪府環境保全課 @user-mu7zi9kv3s

藻場の創造・保全のために

「大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン」の計画期間は、2022年度から2031年度まで。この10年間で「新たに22haの藻場を創造し(湾南部海域)、藻場面積を95haまで回復させる」と明確な目標を掲げています。藻場を22ha創造すると杉4万本が年間に吸収するCO₂の削減が期待できると試算され(林野庁の計算式による)、ブルーカーボンへの期待が高まっています。

では、ハード・ソフトが一体となった藻場の創造・保全のための具体的な対策を見てみましょう。

① ハード対策による合計11haの藻場の造成

- ・ 底質、潮流、藻場の生育範囲から、3地区(泉佐野市以南)に分け、着底基質(ブロック)を設置
- ・ 藻場が確認されている既設ブロック等の近くに設置(タネ供給の役割)
- ・ ブロック設置後、効果調査等を実施

地区	A地区	B地区	C地区
場所	泉佐野、田尻、岡田浦、樽井(18~11年度予定)	尾崎、西島取、下荘、淡輪、深日(14~9年度予定)	谷川、小島(14~9年度予定)
設置水深	5m以浅	10m以浅	15m以浅

② ソフト対策による藻場の創造・保全

- ・ ハード対策実施箇所に加え、海藻のタネ(遊走子)が拡散する周辺海域11haで対策を実施
- ⇒ 海藻のタネ(遊走子)の供給(スポアバッグ/写真左下)、母藻・幼体の移植、植食性魚類(アイゴ/写真右下)の除去、浮泥の除去による藻場の拡大と維持

今後は大阪府と関係市町、水産技術センター、漁業関係者、民間企業などが連携しながら、「藻場ビジョン推進会議」を開催。計画の点検や評価等を実施していきます。また、国におけるブルーカーボンの評価手法などの議論を踏まえ、本ビジョンへの反映を随時検討されます。



◀ 熟したタネ(遊走子)を網袋等に入れたスポアバッグに重りを付け、ブロック周辺に沈設。タネをブロックへ供給します(出典:水産庁HP)



海藻を食べる魚、アイゴ。食用化を目指すなど、新たな取り組みも期待される▶

実証実験! 低コストで実施できる藻場造成 ~「豊かな大阪湾」環境改善モデル事業~

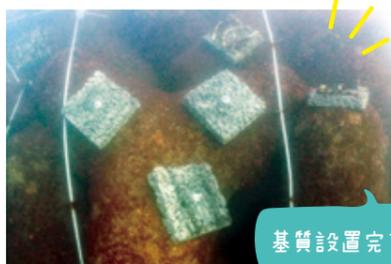
人工藻場を見てみよう!



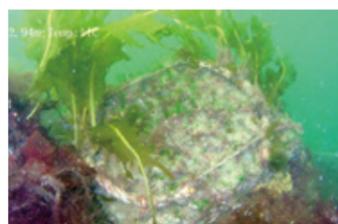
基質の取り付け(2021年12月)

2021年12月、南港野鳥園の護岸に「人工藻場」が設置されました。これは、「『豊かな大阪湾』環境改善モデル事業」として採択された「低コストで実現できる藻場造成」の一環で、海藻類の着生に有効性が確認されている「セラミックスポラスブロック」の設置を行いました。

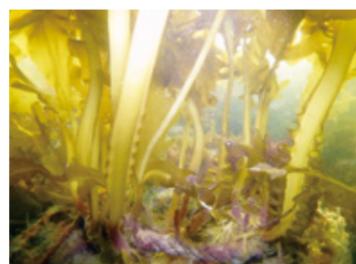
設置後のモニタリングでは、2022年4月の時点で1.5mまで育ったワカメが確認されました。次のモニタリングは2023年3月に実施予定。課題である夏場の水温上昇を乗り越え、順調に育っていることが期待されています。



基質設置完了!



ワカメを確認(2022年3月)



1.5mまで育ちました!
(2022年4月)

ブルーカーボンに取り組むまち「阪南市」

全国アマモサミット2018 in 阪南

大阪市内から電車で40分、関西国際空港や和歌山市にほど近い、阪南市。大阪湾で希少なアマモ場を有し、その再生活動に多くの市民が携わっています。

2018年11月には「全国アマモサミット2018 in 阪南」を開催。全国から海洋研究者や大学教授など約1450人が参加し、海の自然再生と保全について3日間にわたって議論を深めました。



2022年度は3.4tのCO₂削減が認定されました!

SDGs × ブルーカーボン・オフセット

2020年3月、阪南市は関西圏で初となる「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」の認証を受けました。これは、CO₂排出量削減の手法の一つとして、クレジット申請者のCO₂吸収・固定の効果をオフセット実施者(企業など)が買い取り、オフセット実施者が排出するCO₂と相殺するものです。2022年12月までは、市内3漁業協同組合で生産された「養殖ワカメ」を申請。2023年からは「アマモの生息領域」を算定し、新たに国の認可法人:ジャパンプルーエコノミー(JBE)の認証を受けました。この制度によって得た資金は、阪南の子どもたちや市民団体などが取り組む豊かな海づくりや環境活動などに活用します。



JBEから届いたJブルークレジット発行証書

「共創」を軸に、自然と一緒に成長する市

阪南市 未来創生部 シティプロモーション 推進課長 前田 雅寛さん



●海と山、豊かな自然に恵まれた阪南市

約8kmの海岸が広がる阪南市。三つの漁港をもち、それぞれワカメやノリ、最近ではカキの養殖にも力を入れています。2018年の「全国アマモサミット」では開催地として名乗りを上げ、市内の小学生も高校生チームに交じって日頃の研究成果を発表しました。翌年の「G20大阪サミット・配偶者プログラム」でも、アマモの再生をテーマに小学生たちが発表。多くのお褒めの言葉をいただきました。

これを機に、阪南市教育委員会では2019年度から「海洋教育パイオニアスクールプログラム」を活用し、市内の小中学校で環境・海洋をテーマに探求型協働学習を進めています。

●守るべき海のために、継続的な取り組みを

実施校ではアマモの栽培活動をはじめ、ビーチコーミングやアート体験など、多彩な取り組みをしています。アマモの栽培は、花枝(はなえだ)から種子を取り出すところから。それを水に溶ける紙粘土の中に巻き込んで封じ込め、種団子を作ります。海の中で無事に成長することを願って海に団子を投

げるのです。また、校内でその種子を水槽で栽培する活動も。楽しみながら身近にある海に親しんでもらいたいですね。

最近では、ワカメの養殖体験や地引網体験などユニークな企画も実現しました。これは、漁協の協力があってこそその取り組みです。「近くにこんなきれいな海があったんだ!」と再発見することで自然に海辺のごみを拾うようになるなど、確実に意識が変わってきたと思います。

阪南市は2022年度「SDGs未来都市」および「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。取り組みは一步ずつではあるものの、好奇心いっぱいの子どもたちを中心に、漁協の皆さん、先生方、市民、NPO法人、さらには近隣の他市まで、どんどん広がっていくのはうれしいですね。これからも共創を軸に、守るべき海をもつ阪南市ならではの活動を長く続けていきたいと思っています。



アマモの種団子、うまくてきたかな?



教室でアマモを育てました



養殖したワカメの量にビックリ!

水人交



ふわふわかき氷が
かなえる、町おこし



古都から発信!かき氷文化 (奈良県)

いにしえの都・奈良には「氷の神様」をまつる神社があります。歴史をひもとくと、平城遷都の際に勅命で氷が保存され、献上されていたそう。今や奈良は地域に根差したかき氷店、老舗製氷業者が一体となって演出する「氷のまち」。大切に受け継がれてきた氷文化を全国へ、そして海外にも発信していこうという人々の思いにせまります。

奈良にある、二つの氷室神社

その昔、真冬に作った氷を夏まで貯蔵しておく^{もろ}室のことを「氷室」と呼びました。氷室の守り神として周辺に社を建て、神様をまつたことが始まりとされる「氷室神社」が奈良には二つあります。

710年、元明天皇の勅命により、現在の奈良公園内を流れる吉城川沿いにあった氷池で作った氷を、そばに建てた氷室に保存。その守り神が、東大寺の近くにある氷室神社(奈良市)の起源です。

そこから車で山間部を抜け、隣の天理市へ。福住町にあるもう一つの氷室神社は深い森の中、りんとした空気に包まれています。本宮である社の歴史は古く414年ごろとも言われます。仁徳天皇の時代には、額田大中彦皇子がこの地に狩猟に訪れた際に偶然氷室を発見し、以降、その都^{みやこ}の氷室から都へと氷を献上していたことが日本書紀に記されています。

氷にまつわる深い歴史をもつ、奈良。近年のかき氷ブームは2014年頃から、店舗ごとに趣向を凝らした一杯が訪れる人を魅了しています。



趣たっぷりの復元氷室は、まるでタイムスリップしたかのよう(※見学自由/近鉄奈良駅から車で約30分、国道25号沿い)

history

氷の貯蔵庫「氷室」でタイムスリップ ～復元氷室(天理市福住町)～

標高が高い山間部に穴を掘って作る「氷室」。穴の上を茅などでしっかり覆うことで低温を保ち、長期間氷を保存する工夫がなされていました。平城京の長屋王宅から出土した木簡から、「夏に都^{みやこ}氷室から長屋王家へ氷を進上」という記述が見つかったのは1988年のこと。同様に氷室の作り方も発見され、資料に忠実に復元されたのが、この「復元氷室」です。

天理市の本宮を訪ねて

観光客でにぎわう奈良中心部から、車で40分ほど。天理市福住町にある氷室神社は静けさに満ち、夏でもひんやりとした空気に包まれています。「ここは標高470m。春から夏に見られる朝霧も、幻想的な雰囲気ですよ」。そう語るのは、宮司の中村友蔵さん。大きな鳥居の前に立つと、小川のせせらぎの音。一礼して歩みを進めると、足元からは玉砂利の音が心地よく響きます。

毎年2月、建国記念の日に先ほどの「復元氷室」に約3tの氷をおさめて貯蔵。7月の海の日に開催される「福住氷まつり」では大勢の人々が見守る中、その氷を運び出します。「コロナ禍ながら昨年は800名ほどの方が参加され、子どもたちも大いに張り切って氷を運んでいました」(中村さん)。その昔、氷は大切な神事にも用いられ、位の高い者しか口にすることができない尊いものだったそう。「今でこそ当たり前にある氷ですが、昔は氷池に水を張り、それをくり返して厚氷を作りました。先人たちの知恵や試行錯誤を、この場所で感じてもらえたら」。

氷の神様に見守られた、神聖な氷のお仕事はじまりの地。澄み渡る空気の中、いにしえに思いをはせるのも、ぜいたくなひとときでしょう。



氷室神社(福住)
天理市福住町1841番地
電話:0743-69-2971
(※境内の案内を希望される方は事前に電話連絡を)
[アクセス]
車で/名阪国道「福住IC」からすぐ
※駐車場 10台(無料)



毎年「献氷祭」では氷の神様に氷柱をお供えします(7月1日)



氷運びの儀式を忠実に再現する「福住氷まつり」(7月第3月曜、海の日)



広々とした平城京跡を舞台にした天氷祭(8月20日/右は中村宮司)

かき氷業界の繁栄を祈願!「ひむろしらゆき祭(奈良市)」

かき氷業界の発展と繁栄を願う神事として、そして近年は同業者間の情報交換や親睦を深める場として回を重ねてきた「ひむろしらゆき祭」。2014年、県内の製氷業者や飲食店が思いを一つに、氷の守り神が鎮座する氷室神社(奈良市)でスタートしました。2023年は、4年ぶりに全国の人気店によるかき氷の提供も再開!各地で同時開催される「ひむろしらゆきweek」と共に、かき氷ファンを大いに魅了することでしょう。



薄く薄く削られた氷は繊細で美しく、雪のような口どけが楽しめます

information

ひむろしらゆき祭2023
～4月14日(金)・15日(土)～
ひむろしらゆきweek
4月15日(土)～5月7日(日)
全国の参画店舗で特別メニューを提供します!

14日(金)
祈願祭と交流会
9:30～17:00
(※かき氷店対象)

15日(土)
かき氷提供
11:00～16:00
場所:奈良公園バスターミナル
東棟1階

◎15日のかき氷提供は当日会場にて9:00～受付(予定)
ひむろしらゆき祭Instagram▶



かき氷文化を支える、特製純氷「大和氷室」

「純度が高く、硬くて削りやすい」と、奈良のかき氷店に支持される氷があります。1941年創業、奈良市の製氷会社・日乃出製氷が手がける特製純氷「大和氷室」は、通常48時間で凍らせるところを72時間かけてじっくり凍らせ、純度を高めたオリジナルの氷。「一般の純氷よりも高い温度、マイナス7～8℃で凍らせることで不純物を取り除き、硬くて溶けにくい氷になるんです」と教えてくれたのは、四代目社長の中孝仁さん。奈良の氷卸業者の廃業が相次ぐ中、10年ほど前「なにか新しいことを始めなければ」との思いから、かき氷の世界へ。純度が高く溶けにくい「本当に良い氷」を提供すべく、全国の名だたる製氷会社へ足を運んで学びを深め、唯一無二の大和氷室が誕生しました。

「不思議なことに、その土地ごとに氷の味が違います。使う水が変わるからでしょうね。ここ奈良は清酒発祥の地でもあり、昔からおいしい水に恵まれている。奈良市から県外、そして全国へ。これからも安心して使ってもらえる氷を作り続けていきます」(中さん)。自身もかき氷について研さんを積み、現在は講習会などを通じて新規店のバックアップにも力を入れています。「環境に合わせた温度管理や削り方など、伝えたいことがいっぱい」と笑う社長は、「奈良かき氷ガイド」の製作委員長としても「氷のまち」を盛り立てています。



全国のかき氷店へと出荷される大和氷室

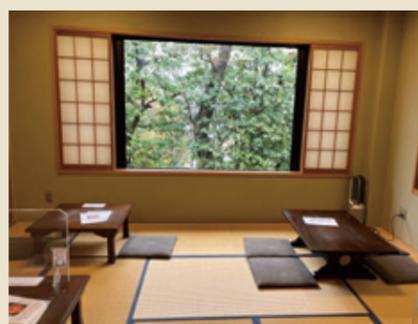


大きな氷柱がズラリと並び、日乃出製氷の製氷庫(中孝仁社長)

pick up!

春日庵

風情ある「ならまち」の路地で、ひときわ趣のあるたたずまいの「春日庵」。明治30年創業の老舗和菓子店も、日乃出製氷の講習会で手ほどきを受け、2016年からかき氷を提供しています。ほどよいボリュームはかき氷の食べ歩きを楽しむ人々にも好評。「黒みつきな粉わらびもち」や「いちご塩大福」など、和菓子店ならではの創作メニューが人気です。



大きな窓越し、世界文化遺産の元興寺の緑に癒やされる春日庵2階の茶房



特製純氷「大和氷室」を使っています!

薄く削った大和氷室に2種のシロップ、たっぷりまぶしたきな粉がぜいたくな「黒みつきな粉わらびもち」

interview 夢は海外へ! かき氷を通じて、奈良の食文化を伝えたい



ひむろしらゆき祭実行委員 平井宗助さん

ふんわりした口だけのエスプーマ(ムース)やフリーズドライのイチゴ、風味豊かなほうじ茶シロップなど、職人の手技が光るかき氷の数々。目も舌も楽しい至福の一杯に出会ったとき、その斬新さ・おしゃれさに衝撃を受けたことを今でも覚えています。長らく奈良で食の仕事に携わってきましたが、奈良の特産品の魅力って伝わりづらいなあと感じていました。柿の葉寿司、三輪そうめん、奈良漬など、おいしいものはたくさんあるのに……と。華やかなかき氷はシンプルでわかりやすく、目新しさがあった。そう、一杯のかき氷に無限の可能性と魅力を感じたんです。ちょうど遷都1300年を迎えた2010年頃のこと。奈良の食文化を見直そう!と、「地産地消」の機運が高まっていた頃でした。

同じ思いをもつメンバーとのご縁に恵まれ、祭りもガイドブックもこれまで続けてくることができました。かき氷って、「こうあるべき」というルールがないところが楽しい。和菓子店やフレンチレストランなど、皆さんそれぞれ本業があって、得意なスキルや文化を自由にかき氷で表現できるのです。作り手の解釈によって自由に花開いていく、という感じでしょうか。どんどん魅力的なお店が増えることはうれしいですし、その面白さを発信し続けたいです。私自身は2022年4月に「柿の葉茶専門店 SOUSUKE byほうせき箱」をオープン。4種のかき氷と共に、奈良の里山で育てた柿の葉茶を提供しています。

今後の目標は、繊細かつ楽しい、日本のかき氷独特の「食文化」を伝えること。ラーメンや焼き鳥のように、海外でも「shaved ice(シェイブド・アイス)」ではなく「kagigori」として広めたい。そして、かき氷を楽しみに奈良へ足を運び、長く滞在したくなる「かき氷ツーリズム」のような仕組みができればと。魅力あふれるかき氷を軸に、この地域で新しいことにまだまだチャレンジしていきたいです。



かき氷に使う人気の奈良県産の朝採れいちご「あすカルビー」は、地元ならではの強み。



県内で栽培された柿の葉茶の粉末を練り込んだガレット(そば粉のクレープ)。もちもちの生地に新鮮な大和野菜をたっぷり



奈良市街周辺の地図

多彩なかき氷の魅力 / 『奈良かき氷ガイド』を詰め込んだ



第1回「ひむろしらゆき祭」の翌年に創刊されたフリーペーパー「奈良かき氷ガイド」。有志で結成された「奈良かき氷ガイド製作委員会」が毎年発行を続け、8年目となる2022年度版には過去最大の60店が掲載されました。

かき氷と共に奈良の歴史や文化をゆっくりと体感してほしい。そんな思いが詰まったガイドブックをぜひ手にとってみてくださいね。



※掲載店舗(2023年度版は55店を予定)や氷室神社(奈良市)などで配布予定

大阪・関西万博の機運醸成に向けた デザインマンホールふたの制作

大阪市では、令和4年4月に策定しました「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0)」を踏まえ、2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という。）の機運醸成の一環として、大阪・関西万博公式ロゴマークおよび公式キャラクター「ミャクミャク」がデザインされた大阪・関西万博デザインマンホールふたを制作しました。公式キャラクター「ミャクミャク」が、マンホールふたから飛び出してきたような躍動感のあるデザインとしており、また中央部分だけを見ると、公式ロゴマークとなっています。



大阪市公共下水道
マンホールふた

大阪府流域下水道
マンホールふた

制作したマンホールふたは、JR大阪駅周辺や、大阪市役所本庁舎周辺の歩道部分など令和4年12月5日（月）より、大阪市内10カ所に先行設置しました。できるだけ多くの方々にご覧いただけるよう、多くの人の集う駅周辺や官公庁周辺を設置場所として選定しました。あわせて大阪市役所正面玄関ホールや大阪市下水道科学館など2カ所の市所管施設に加え、府所管施設5カ所においてマンホールふたの実物展示を行っています。

○先行設置場所（計10カ所）	
JR大阪駅周辺	（大阪市北区梅田1丁目付近）
大阪市役所本庁舎周辺	（大阪市北区中之島1丁目付近）
南海なんば駅周辺	（大阪市中央区難波5丁目付近）
JR天王寺駅周辺	（大阪市天王寺区茶臼山町付近）
ドーム前千代崎駅周辺	（大阪市西区千代崎3丁目付近）
大阪城公園周辺	（大阪市中央区大阪城付近）
大阪府庁別館周辺	（大阪市中央区大手前3丁目付近）
2025年日本国際博覧会協会道修町オフィス周辺	（大阪市中央区道修町3丁目付近）
大阪府咲洲庁舎周辺	（大阪市住之江区南港北1丁目付近）
鶴見緑地駅周辺	（大阪市鶴見区緑地公園付近）



大阪・関西万博 デザインマンホールふた

○展示場所（計7カ所）	
（ア）市所管施設（令和4年12月5日（月）～令和7年10月13日（月））	
大阪市役所正面玄関ホール	（大阪市北区中之島1丁目3番20号）
大阪市下水道科学館	（大阪市此花区高見1丁目2番53号）
（イ）府所管施設（令和4年12月5日（月）～（常設予定））	
大阪府庁本館1階正面入口付近	（大阪市中央区大手前2丁目）
大阪府東部流域下水道事務所管理棟1階ロビー	（東大阪市川俣2丁目1番1号）
大阪府鴻池水みらいセンター下水道ふれあいプラザ	（東大阪市北鴻池町1番18号）
大阪府渚水みらいセンター管理棟1階ロビー	（枚方市渚内野4丁目10番1号）
大阪府川俣水みらいセンター川俣スカイランド	（東大阪市川俣2丁目1番1号）



大阪・関西万博 デザインマンホールふた

この取り組みは、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会含め、多くの関係者の皆様の御協力により、設置や展示が実現できたものです。また、SNSを活用したイベント「大阪・関西万博デザインマンホールふたフォトラリー」の下水道部ツイッターの投稿には6万を超える閲覧があり、多くの反響をいただきました。令和5年度からは、大阪市内の駅周辺や人通りの多い歩道部分など約400カ所の設置を進めていき、今後も万博の機運醸成に向けたさまざまな取り組みを行うとともに、大阪府と連携し、さらに府内の市町村にも設置を働きかけ、大阪全体で大阪・関西万博を盛り上げていきます。



SNSで

大阪・関西万博デザイン マンホールふたフォトラリー



大阪市では、大阪・関西万博開催への皆さんの期待が高まるように、大阪・関西万博公式ロゴマークおよび公式キャラクター「ミャクミャク」がデザインされたマンホールを市内10カ所に設置しました。
大阪・関西万博開催に向けさらに盛り上げていくために、下水道グッズが当たるSNSを活用した「フォトラリー」を開催しています。ぜひご参加ください！

参加ルール

- マンホールふたの写真を、場所がわかるように背景も入れて撮影。
- twitterまたはInstagramに、ハッシュタグ「#大阪関西万博マンホール」を付けて投稿。
- ※1回の投稿につき、写真の添付は1枚のみ。

プレゼント内容

1カ所以上投稿した方

**下水道グッズ
詰め合わせ**

抽選で
10名様

10カ所すべて投稿した方

**レアな
下水道グッズ**

抽選で
1名様

【問い合わせ】大阪市建設局 下水道部調整課 ☎06-6615-7586

【締め切り】令和5年1/31（火）までの投稿

※このイベントは終了しています。

マンホールの設置場所

JR大阪駅周辺 JR天王寺駅周辺 大阪城公園周辺
 大阪市役所本庁舎周辺 南海なんば駅周辺
 ドーム前千代崎駅周辺 大阪府庁別館周辺
 2025年日本国際博覧会協会道修町オフィス周辺
 大阪府咲洲庁舎周辺 鶴見緑地駅周辺

詳しくはHPにて▶ 



**大阪市建設局下水道部の
SNSのフォローもよろしく
お願いします！**

←ツイッター インスタグラム→



3年ぶり、体験型で実りの多い2日間 第10回下水道市民講座を開催しました!



10/24集合写真

令和元年10月に開催して以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて開催を自粛していましたが下水道市民講座を、今回3年ぶりに開催することができました。

今回の開催は、昨年4月にリニューアルオープンした大阪市下水道科学館を開催場所とし、科学館内や近くの海老江下水処理場の見学などをカリキュラムに組み込んだところ、多くの参加者から非常に有意義であったと喜んでいただきました。



10/24 開会挨拶(都市技術センター 永井理事長)



10/24 講演風景



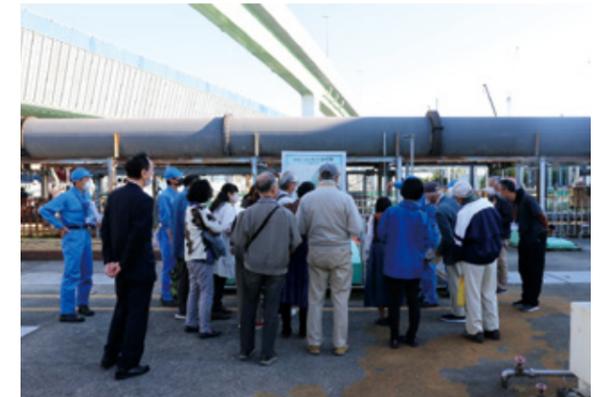
10/24 大阪市下水道科学館内見学風景



10/31 集合写真



10/31 海老江下水処理場見学風景(1)



10/31 海老江下水処理場見学風景(2)



10/31 閉会挨拶(NPO法人水濁 福井理事長)

開催日時 令和4年10月24日、10月31日 午後1時30分～午後4時30分
開催場所 大阪市下水道科学館
参加人数 2日間延べ100名

Mer vol.34の作成に取材協力・写真提供をいただき、ありがとうございました。

- ▶ 清流紀行 公益財団法人 白鶴美術館
住吉川清流の会
- ▶ ガイアの瞳 大阪府 環境農林水産部
阪南市 未来創生部

- ▶ 水人之交 氷室神社
日乃出製水株式会社
合同会社 ほうせき箱
株式会社 春日庵